



若い人に贈る読書のすすめ 2022

あけましておめでとうございます。
今年もよろしくお願いいたします。

年の初めは、若い世代の皆さんに
今年ぜひ読んでほしい本を特集します。

あなたに“刺さる”1冊が
見つかりますように！

『ホオナニ、フラおどります』

ミカ・ソング(絵)/さ・え・ら書房/E3-3

女と男、両方の性を自認し、「自分は男と女のまんなかにいる」と
思っているホオナニが、ハワイの伝統文化である男性の古典フラを
ととして「ありのままの自分」を表現しようとしています。
実話に基づいた物語です。

『教室に並んだ背表紙』

相沢沙呼/集英社/913.6 アイ

中学校の図書室を舞台にした、
司書のしおり先生と生徒たちのお話です。
生徒たちはそれぞれ悩みや不安を抱えていて、
読書との出会いで少しずつ変わっていきます。

『なぜ私たちは理系を選んだのか』

柘太一/岩波書店/40

宇宙飛行士、ユーチューバー、研究者、アスリート…。
大学で理系分野を学び、現在は様々な仕事をしている
7人に、理系出身アナウンサーが、理系の可能性や選んだ
理由などをインタビュー。進路に悩んでいる人へ。

『オードリー・タン 自由への手紙』

オードリー・タン(語り)/講談社/304 オド

常識、ジェンダー、家族制度、仕事…。
誰かが「決めた」正しさには、もう合わせなくていい！
台湾の最年少デジタル大臣が、日本の若い世代に向け、
新しい社会をつくるための17通の手紙を綴ります。

『10代の君に伝えたい』

学校で悩むぼくが見つけた

未来を切りひらく思考』

山崎聡一郎/朝日新聞出版社/15

勉強、友だち関係、いじめ、不登校…。

『こども六法』の著者が、
つらく苦しい思いをしている10代の若者に向けて、
将来に向かって歩みを進める方法を伝える1冊。

『捨てないパン屋の挑戦 しあわせのレシピ』

井出留美/あかね書房/28

まきを燃やして作る田村さんのパンには、
何十年も生きてきた木の「いのち」も受け継がれていて…。
パンの廃棄に悩み、奮闘するお話が描かれています。